

令和6年8月

第1回臨時教育委員会会議

会 議 録

令和6年8月6日開催

# 会 議 録

開催日時	令和6年8月6日(火) 午後2時00分 開会 午後4時33分 閉会																	
場 所	旭川市教育委員会 教育委員会室																	
出席者	教 育 長 及 び 委 員	教育長 野崎 幸宏、 <small>教長職務代理者</small> 本田 哲嗣、委員 近藤 美保 委員 山崎 與吉、委員 坂田 葉子																
	事 務 局	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">学校教育部長</td> <td>坂本 考生</td> </tr> <tr> <td>学校教育部次長</td> <td>中瀬 恭子</td> </tr> <tr> <td>学校教育部次長</td> <td>末木 良典</td> </tr> <tr> <td>学務課長</td> <td>山本 厚</td> </tr> <tr> <td>教職員課長</td> <td>山下 聡司</td> </tr> </table>	学校教育部長	坂本 考生	学校教育部次長	中瀬 恭子	学校教育部次長	末木 良典	学務課長	山本 厚	教職員課長	山下 聡司						
	学校教育部長	坂本 考生																
	学校教育部次長	中瀬 恭子																
学校教育部次長	末木 良典																	
学務課長	山本 厚																	
教職員課長	山下 聡司																	
事 務 局 員	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">教育政策課長補佐</td> <td>佐々木孝二郎</td> </tr> <tr> <td>教育政策課主査</td> <td>朝倉 裕幸</td> </tr> <tr> <td>学務課主査</td> <td>加藤 大輔</td> </tr> </table>	教育政策課長補佐	佐々木孝二郎	教育政策課主査	朝倉 裕幸	学務課主査	加藤 大輔											
教育政策課長補佐	佐々木孝二郎																	
教育政策課主査	朝倉 裕幸																	
学務課主査	加藤 大輔																	
旭川市教科書調査委員会	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">国語及び書写小委員会小委員長</td> <td>林 真千子</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">同 副小委員長</td> <td>蛭名 真也</td> </tr> <tr> <td>地理及び地図小委員会小委員長</td> <td>工藤 亘</td> </tr> <tr> <td>歴史小委員会小委員長</td> <td>岩瀬 一弘</td> </tr> <tr> <td>公民小委員会小委員長</td> <td>長谷川 猛</td> </tr> <tr> <td>数学小委員会小委員長</td> <td>常盤 慎一</td> </tr> <tr> <td>理科小委員会小委員長</td> <td>小嶋 栄次</td> </tr> <tr> <td>音楽一般及び器楽合奏小委員会小委員長</td> <td>坂東 裕実</td> </tr> </table>		国語及び書写小委員会小委員長	林 真千子	同 副小委員長	蛭名 真也	地理及び地図小委員会小委員長	工藤 亘	歴史小委員会小委員長	岩瀬 一弘	公民小委員会小委員長	長谷川 猛	数学小委員会小委員長	常盤 慎一	理科小委員会小委員長	小嶋 栄次	音楽一般及び器楽合奏小委員会小委員長	坂東 裕実
国語及び書写小委員会小委員長	林 真千子																	
同 副小委員長	蛭名 真也																	
地理及び地図小委員会小委員長	工藤 亘																	
歴史小委員会小委員長	岩瀬 一弘																	
公民小委員会小委員長	長谷川 猛																	
数学小委員会小委員長	常盤 慎一																	
理科小委員会小委員長	小嶋 栄次																	
音楽一般及び器楽合奏小委員会小委員長	坂東 裕実																	
傍 聴 者	0人																	
公開・非公開の別	非公開																	
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 会議録署名委員</li> <li>3 前回会議録</li> <li>4 審議事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・議案第1号 令和7年度から使用する旭川市立中学校用教科用図書の採択について</li> <li>・報告第1号 旭川市立学校職員の処分内申（臨時代理）について</li> </ul> </li> <li>5 その他</li> <li>6 閉会</li> </ol>																	

審 議 内 容	
発 言 者	発 言 要 旨
教 育 長	<p>《 開 会 》</p> <p>ただいまから、令和6年8月第1回臨時教育委員会会議を開会いたします。</p> <p>《会議録署名委員》</p>
教 育 長	<p>本日の会議録署名委員は、本田委員、山崎委員を指名します。</p> <p>《 前回会議録 》</p>
教 育 長	<p>会議録ですが、令和6年4月定例教育委員会会議（令和6年4月23日開催）については、既にお手元に配付されておりますが、これらの内容について、御意見はありますか。</p>
各 委 員	<p>ありません。</p>
各 教 育 長	<p>御意見がありませんので、これを承認することで御異議ありませんか。</p>
各 委 員	<p>異議ありません。</p>
各 教 育 長	<p>「異議なし。」と認め、令和6年4月定例教育委員会会議の会議録については、承認することといたします。</p> <p>なお、令和6年5月定例会、6月定例会及び7月定例会の会議録については、現在調製中ですので、調製後、承認するという事によろしいですか。</p>
各 委 員	<p>異議ありません。</p>
各 教 育 長	<p>「異議なし。」と認め、令和6年5月定例会、6月定例会及び7月定例会の会議録については、調製後、承認することといたします。</p> <p>《 審議事項 》</p>
教 育 長	<p>それでは、審議事項に入ります。</p> <p>お手元に配付されております令和6年8月第1回臨時教育委員会会議議案等の公開及び会議録記載方法の取扱い一覧についてですが、議案第1号及び報告第1号は、その性質上、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書の規定により秘密会といたしたいと思っておりますが、いかがですか。</p>
各 委 員	<p>異議ありません。</p>
各 教 育 長	<p>「異議なし。」と認め、議案第1号及び報告第1号は、秘密会といたします。</p> <p>また、報告第1号は、旭川市教育委員会会議規則のとおり、会議録には概要を記載することといたしたいと思っておりますが、いかがですか。</p>
各 委 員	<p>異議ありません。</p>
各 教 育 長	<p>「異議なし。」と認め、報告第1号は、会議録には概要を記載することといたします。</p>

<p>教 育 長</p>	<p>《 秘 密 会 》</p> <p>ここからは、秘密会といたします。</p> <p>&lt;報告第1号「旭川市立学校職員の処分内申（臨時代理）について」&gt; 令和6年7月19日付けで北海道教育委員会に対し内申した旭川市立学校職員の処分内申について、教育長が臨時に代理した旨を報告し、報告のとおり了承した。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>暫時休憩いたします。</p> <p>（事務局入れ替え）</p>
<p>教 育 長</p>	<p>再開いたします。</p> <p>議案第1号「令和7年度から使用する旭川市立中学校用教科用図書の採択について」、説明願います。</p>
<p>学 務 課 長</p>	<p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6号及び義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条の規定に基づき、旭川市立中学校で令和7年度から使用する教科書を種目ごとに1種を採択するもので、文部科学省が発行する教科書目録に掲載されたもののうち、旭川市へ採択用として教科書発行者から送付された教科書見本本及び文部科学省著作の教科用図書から採択することとなります。</p> <p>採択された教科用図書の使用期間につきましては、原則として令和7年度から令和10年度までの4年間となります。</p> <p>今回の採択の対象となる教科用図書数は、22出版社、142点となっております。</p> <p>別紙の教科用図書一覧の表記方法についての説明でございますが、教科書目録の掲載要領に従いまして、発行者は「番号と略称」で、また、教科用図書は「記号と番号」で表記しております。「記号」は教科を、「番号」の3桁と2桁の数字のうち、3桁の数字は発行者を表し、後ろの2桁は学年及び教科用図書の固有の番号を示しています。例えば、一番上段の、東京書籍国語の「002-72」は東京書籍発行の中学校1年生用、2段目の三省堂国語の「015-82」は三省堂発行の中学校2年生用の教科書であることを示しています。</p> <p>続きまして、特別支援教育の使用教科書について、特別支援教育におきましても今回採択される中学校用の教科用図書を使用するのが原則でございますが、発達段階に応じた教育を行うために必要に応じて下学年用の教科書を使用すること、視力に障害のある児童が拡大教科書を使用すること、また、知的障害学級において、文部科学省著作教科書を使用することができるようにするため、こちらの採択も合わせてお願いいたします。</p> <p>また、学習指導要領において3学年分の指導内容が一体となっている英語、道徳につきましては、教科書は学年別に発行されているため、原則として、全学年について新たに採択した発行者の新版教科書を使用することと</p>

<p>教 育 長 各 委 員 教 育 長</p>	<p>なります。</p> <p>ただし、採択替えにより今年度と異なる発行者の教科書を使用することとなった場合、令和7年度の第1学年は採択変更後の発行者の新版教科書を使用し、第2学年及び第3学年となる生徒については、採択権者の判断により、採択変更前の発行者の新版教科書を使用することも可能であることから、どちらを使用するか審議いただきたいと考えております。</p> <p>採択に当たっての資料といたしまして、教科用図書の発行者から送付された「教科書見本本」、旭川市教科書調査委員会から受けた「答申」、北海道教育委員会が作成した「採択基準」及び「採択参考資料」、教科書発行者が作成した「教科書編集趣意書」につきましては、既に提出をさせていただいております。</p> <p>次に、教科書展示会の開催結果についてですが、本市では、法定の開催期間を拡大し、中央図書館、永山図書館、神楽図書館に加え東光図書館において、6月14日から7月17日まで、各図書館の休館日を除く実質28日間開催いたしました。</p> <p>期間中御署名いただいた来場者数は、各会場合わせて50人、寄せられた意見は16件となっております。また、市民団体等からの要望につきましては1団体から頂戴しており、また、ホームページからのお問合せメールにより意見を1件いただいております。</p> <p>なお、頂戴した意見・要望書につきましては、原文のまま資料としてお配りしております。</p> <p>本案について、御意見、御質問等がありますか。</p> <p>ありません。</p> <p>それでは、最初に教科書採択の意義、採択方針を確認させていただきます。教科書は、全ての児童生徒の学校における授業や、家庭における学習活動において重要な役割を果たすものであり、教科書採択は、採択権者の判断と責任により、綿密な調査研究を踏まえた上で、公正性、透明性に疑念を生じさせることのないよう、適切に行われることが重要です。</p> <p>このことから、5月の教育委員会会議で検討いたしました旭川市の教科書採択方針ではありますが、1点目が日本国憲法及び教育基本法を遵守する、2点目が学習指導要領の趣旨を踏まえて行う、3点目が本市を中心とする地域性並びに生徒の実態、生活経験及び興味・関心などに配慮して行う、この3点となっているところであります。</p> <p>1点目については、特に教育基本法において、日本の教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行わなければならないこととされていることを、今一度念頭に置いていただきたいと思います。</p> <p>次に、2点目についてですが、先日の教育委員会協議会において、学習指導要領について、皆様と互いに理解を深めたところであります。学習指導要領の趣旨で再確認しておきたいのは、生徒の生きる力を育むに当たり、3点が示されており、知識及び技能が習得されるようにすること、思考力、判断力、表現力等を育成すること、学びに向かう力、人間性等をかん養すること、これらを偏りなく実現できるようにすることが求められていることとなっております。</p>
----------------------------------	---

	<p>3点目、本市を中心とする地域性並びに生徒の実態、生活経験及び興味、関心などに配慮して行うということについては、教科書調査委員会において、本市生徒の学習状況等を踏まえた上で、本市独自の項目として、本市の地域特性や教育資源を生かした指導について、ICTの活用について、小中連携による指導について、調査を行っております。また、各教科ごとに本市の生徒の学習の状況を踏まえた調査を行っており、答申をいただいているところであります。</p> <p>加えて、「第2期旭川市学校教育基本計画」において、3つの目標の1つである「子どもたちに未来を生き抜く力を育む」ための基本施策である1点目、確かな学力を育成する教育の推進、2点目、豊かな心と健やかな体を育成する教育の推進、3点目、子どもたちの多様な個性を伸ばす教育の推進についても、採択に当たり御配慮いただきたいと存じます。</p> <p>なお、採択を進めるに当たりましては、令和6年3月29日に文部科学省より発出されております「教科書採択における公正確保の徹底等について」において、静謐な環境を確保し、採択権者の判断と責任において、公正かつ適正に行われるよう努めなくてはならないと通知されておりますので、こちらについても御留意いただきますようお願い申し上げます。</p> <p>次に審議の進め方ですが、事務局から説明があったとおり、全22出版社、142点もの教科書から、8月31日までに各種目1冊を採択するというので、今後の審議の進め方について、整理しておきたいと思っております。</p> <p>まず、本日及び明日の審議については、旭川市教科書調査委員会各小委員会の委員長の出席を求め、答申の説明を受け、次に委員の皆さんから質問を行っていただき、この質問を通じて、必要な調査結果・調査内容を求める形で審議を進めたいと思っております。</p> <p>小委員長からの説明・質問を終えた後、明日の定例教育委員会会議からになります。種目ごとに特に発行者4者以上の教科用図書のうちから採択を要するものについては、重点的に審議する教科書の絞り込みを行いたいと思っております。</p> <p>絞り込みを行った後、8月9日の定例教育委員会からになるかとは思いますが、各種目でそれぞれ1者を採択していくという進め方が適切かと考えますが、御異議ありませんか。</p>
各 教 育 委 員 長	<p>異議なし。</p> <p>「異議なし。」と認め、ただいま御説明した進め方によりたいと思っております。</p> <p>なお、本日の審議は、国語、書写、地理、地図、歴史、公民、数学、理科、音楽（一般）、音楽（器楽合奏）の10種目で進めていきたいと思っております。国語と書写、地理と地図、音楽の一般と器楽合奏は一つの小委員会ですので、一緒に説明していただくこととします。</p> <p>暫時休憩いたします。</p> <p>(国語及び書写小委員会小委員長及び副小委員長入室)</p>
教 育 長	<p>再開いたします。</p> <p>最初に、国語及び書写の審議を始めます。旭川市教科書調査委員会の小委員長の立場から、調査研究結果について、答申書に基づいて御説明をお願い</p>

林 小 委 員 長

します。

本小委員会は、9名の調査委員により、3回の小委員会を開催し、国語・書写それぞれ4者の教科用図書について、旭川市教育委員会の教科用図書の採択方針に基づき調査研究を行いました。

はじめに、国語の調査結果について報告いたします。

調査結果につきましては、発行者ごとに別紙様式1に記載しております。また、観点ごとに各発行者の特徴を比較できるように、別紙様式2に一覧で整理しておりますので、こちらに沿って説明をさせていただきます。

1ページから2ページ中段の「取扱内容」、2ページ下段の「内容の構成・排列、分量等」、3ページ上段の「使用上の配慮等」につきましては、いずれの発行者においても、国語科の目標である、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力の育成が図られるよう、学習活動が設定され、構成等の工夫がなされておりました。

3ページ下段に記載しております「指導上の配慮等」につきましては、「地域素材」、「ICTの活用」、「小中連携への配慮」の3点について調査研究を行いました。

一つ目、地域素材につきましては、4者とも、北海道にゆかりのある書籍が読書案内で紹介されておりました。特に三省堂においては旭山動物園が、教育出版においては本市ゆかりの人物である知里幸恵さんの生き方が、教材文に取り上げられており、生徒が身近に感じ、関心をもって国語の学習に取り組むことができるようになっておりました。

二つ目、ICTの活用につきましては、4者とも二次元コードから、学習内容に関連する補助資料等を視聴することができるようになっておりました。特に光村図書においては、単元で行う言語活動の手本の動画などのコンテンツが充実するとともに、二次元コードに資料の内容の説明が付記されているなど、生徒が主体的に活用できるよう工夫がなされていることに加え、タブレットを活用する際の健康面に配慮した動画も視聴できるようになっておりました。

三つ目、小中連携による指導につきましては、4者とも、第1学年の導入において、馴染みやすい教材を設定するなどの配慮がなされており、特に光村図書においては、教材文の難易度の配慮に加え、小学校で学んだ基礎・基本を確認できる題材を設定しており、中学校における国語の学習等へ円滑に接続されるよう配慮がなされておりました。

4ページに記載しております「本市生徒の学習の状況等」につきましては、本市生徒の国語科において見られる課題の解決に資する特徴として3点について調査研究を行いました。

一つ目、単元の学習で身に付けた言葉の力を、日常の学習や生活場面で活用できる工夫につきましては、4者とも、単元末に、当該単元で身に付ける言葉の力を明示し、振り返る活動を設定しておりました。特に光村図書においては、身に付けた言葉の力を活用する具体的な場面を併せて示すとともに、身に付けた力を応用して解決を図る問題を設定する配慮がなされておりました。

二つ目、目的に応じて、情報を収集・整理して適切に表現する力を育成する工夫については、4者とも、情報の整理の仕方など情報に関わる学習と、

「書くこと」や「話すこと」などの言語活動を関連付けた学習活動を設定する工夫がなされておりました。特に東京書籍と光村図書の2者においては、情報の扱いなどについて、見開きページでしっかりと学習してから、適切に表現する言語活動に生かすことができるよう工夫がなされておりました。

三つ目、叙述を根拠にして自分の考えをもち、適切に表現する力の育成については、4者ともに、「読むこと」の単元末に、指導事項に基づく読み深め方と考えを表現する学習過程を示す配慮がなされておりました。特に東京書籍と光村図書の2者においては、読み方や考えの形成に関わる手がかりが分かりやすく示される工夫がなされておりました。

国語の調査結果については、以上になります。

続いて、書写の調査結果について報告いたします。

国語と同様に、別紙様式2に沿って説明をさせていただきます。

1ページから2ページ上段にかけての「取扱内容」、2ページ上段の「内容の構成・排列、分量等」、2ページ中段の「使用上の配慮等」につきましては、いずれの発行者においても、生徒が書写に関する指導事項を理解し、書く力を身に付けられるよう、学習活動が設定され、構成等の工夫がなされておりました。

2ページ下段から3ページ上段にかけて記載しております「指導上の配慮等」につきましては、国語と同様に「地域素材」、「ICTの活用」、「小中連携による配慮」の3点について調査研究を行いました。

一つ目、地域素材につきましては、4者とも、北海道に関わる題材が取り上げられており、特に教育出版においては、旭川に関わる題材である「神居古潭」の石碑の写真が取り上げられておりました。

二つ目、ICTの活用につきましては、4者とも、二次元コードから、学習内容に関連する補助資料等を視聴することができるようになっておりました。特に教育出版においては、硬筆の運筆動画が視聴できるようになっており、光村図書では、毛筆の運筆動画が複数の視点から視聴できるよう工夫がなされておりました。

三つ目、小中連携による指導につきましては、4者ともに、第1学年の導入において、小学校で学習した内容を振り返り、中学校における書写の学習につなげる配慮がなされておりました。

3ページに記載しております「本市生徒の学習の状況等」につきましては、本市生徒の書写において見られる課題の解決に資する特徴として3点について調査研究を行いました。

一つ目、毛筆等で身に付けた力を、日常の書く活動へ活用する力を育成するための工夫につきましては、4者ともに、小単元等において他教科や日常の書く活動などと関連付けた言語活動等がされておりました。特に教育出版では、硬筆で文や文章を書く活動が多く設定されておりました。

二つ目、生徒が見通しや目的意識を持って学習に取り組むことができるようにするための工夫につきましては、4者ともに、題材ごとに目標や学習課題を示した上で、学習過程を明確に設定しておりました。特に東京書籍、教育出版、光村図書の3者においては、巻頭に中学校における書写の学習の進め方について理解する題材が収録されておりました。また、同じ3者において、各題材の構成が、硬筆等により課題を発見するとともに、毛筆による

	<p>課題解決の手がかりがわかりやすく示されるなど、生徒が見通しを持って学習に取り組めるよう工夫がなされておりました。</p> <p>三つ目、生徒が身に付けた書写の力を自覚できるようにするための工夫につきましては、4者ともに、毛筆の学びを硬筆で確かめる活動が設定されておりました。特に教育出版においては、全ての毛筆の題材において、硬筆での「試し書き」と「まとめ書き」が設定されており、生徒が自分の変容に気付くことができるよう工夫がなされておりました。また、光村図書においては、別冊の硬筆練習帳が綴じ込まれており、毛筆の教材文字と同じ学習要素を持つ硬筆課題が豊富に設定されておりました。</p> <p>3ページ下段に記載しておりますが、「その他」として、「行書の学習への導入での配慮」について調査したところ、4者ともに、行書の特徴を理解してから、硬筆と毛筆の学習を行った後、硬筆のまとめにより定着を図る配慮がなされており、特に教育出版においては、特徴を理解した後、毛筆により連続の動きを試して理解を深める活動を設定する配慮が見られました。</p> <p>国語・書写の調査結果の報告は以上となります。</p>
<p>教 育 長 本 田 委 員</p>	<p>まず、国語について、御意見、御質問等がありますか。</p> <p>学習指導要領の中で、国語科では言語活動例が示されていますが、特徴的な教材のある教科書を教えてください。国語科では、目的意識、相手意識のほかに方法や評価といった意識がありますが、小委員会で議論された点がありますか。</p>
<p>林 小 委 員 長</p>	<p>まず、言語活動例について、4者とも学習指導要領に示されている言語活動例を十分に生かした内容となっております。ただ、ICTを活用したデジタルコンテンツという部分で、光村図書では言語活動の手本となる良い例について、言葉を伝えるということが1学年の1番最初に示されていました。教科書で示した上で、デジタル教材において、声を届ける発表の仕方について、良い例、良くない例が、中学生自身の発表を通して分かりやすく説明されていました。また、この言語活動例の手本については、東京書籍や三省堂でも同じようなことがデジタル教材で示されていました。</p>
<p>本 田 委 員</p>	<p>2点目の国語科の意識について、今回の教科書は、全体的に、生きて働く力の育成というところに重きを置く教科書編成、単元構成になっていると思います。特に、東京書籍や光村図書では、巻末にいろいろな学びを生かすような題材を取り上げていました。特に「振り返る」ということについては4者とも相手意識や目的意識など指導事項を踏まえた観点が示されており、特に、光村図書では、主体的な学習に取り組むという観点について、工夫がなされていました。</p>
<p>林 小 委 員 長</p>	<p>学習指導要領の目標において、言葉を使う場面が、小学校では日常生活、中学校になると社会生活となりますが、それぞれの教科書が社会に広く目を向けるような構成となっているか教えてください。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>4者ともに、SDGsや未来社会を意識した構成になっており、調査委員会の協議の中でも、中学生という発達段階にふさわしい内容であると話題になっておりました。</p>
<p>各 委 員 教 育 長</p>	<p>他に御意見、御質問等はありませんか。</p> <p>ありません。</p> <p>続いて、書写について、御意見、御質問等がありますか。</p>

<p>本 田 委 員</p>	<p>書写の指導は、硬筆による書写の能力の基礎を養うことをねらいとするものであり、先ほどの説明でもあったとおり、最終的に硬筆の能力が上がるのが目標であるという意見が調査委員会でも出たと思いますが、各者ともその力が付くような内容となっているか教えてください。</p>
<p>蛭 名 副 小 委 員 長</p>	<p>いずれの教科書も硬筆による書く力が身に付くような排列になっておりました。特に、日常の硬筆に役立てるということで、毛筆で学んだ後、いかに硬筆でその学びを広げていくか、そういった点で、毛筆の文字ばかりではなく、毛筆で学んだことが含まれている他の文字についても、硬筆で書いて日常に生かすという工夫がなされていました。その中でも、教育出版では、毛筆で学んだことを、別の文字にどのように生かせばよいのかといった点を、生徒自身に考えさせるというところがほかの教科書にはなかった工夫であると感じたところです。</p>
<p>本 田 委 員</p>	<p>速く書くということが中学校書写の学習内容の一つではありますが、漢字の題材とかなの調和というものも重要な内容であると思います。そのことが意識されている教科書はありましたか。</p>
<p>蛭 名 副 小 委 員 長</p>	<p>小委員会の中では、漢字とかなの調和について、一番取り上げられているのは、教育出版であるという意見でした。3学年、どの学年でも漢字とかなまじりの文章等を取り上げており、硬筆の文章を書く場面などにおいても、生徒自身に課題を持たせ解決を図る構成になっていました。</p>
<p>本 田 委 員</p>	<p>書写の授業時間は限られていますが、3年生においても少ない授業時間でしっかり履修できると思われる教科書はありましたか。</p>
<p>蛭 名 副 小 委 員 長</p>	<p>4者とも書写学習の学びを日常に生かすものとして、硬筆のノートをはじめ、ポスターや色紙、手紙やはがきといった多様な題材を発展的な活動として用意しており、書写の時間以外においても書写の力を高めることができるよう工夫されています。例えば、高校入試の願書を扱った教科書もあり、そういったものを生かしながら、進路指導を行うことができます。また、色紙でこの3年間で学んだことを漢字一文字で表すといった多様な表現に目を向ける内容もあり、高校につながる大切な学びであろうと考えています。</p>
<p>教 育 長 各 委 員 教 育 長</p>	<p>他に御意見、御質問等はありませんか。 ありません。 以上で、国語及び書写の審議を終了します。 暫時休憩いたします。</p>
<p></p>	<p>(国語及び書写小委員会小委員長及び副小委員長退室) (地理及び地図小委員会小委員長入室)</p>
<p>教 育 長</p>	<p>再開いたします。 続いて、地理及び地図の審議を始めます。 旭川市教科書調査委員会の小委員長の立場から、調査研究結果について、答申書に基づいて御説明をお願いします。</p>
<p>工 藤 小 委 員 長</p>	<p>本小委員会は、8名の調査委員により、3回の小委員会を開催し、地理4者・地図2者の教科用図書について、旭川市教育委員会の教科用図書の採択方針に基づき調査研究を行いました。</p>

はじめに、地理の調査結果について報告いたします。

調査結果につきましては、発行者ごとに別紙様式1に記載しております。また、観点ごとに各発行者の特徴を比較できるよう、別紙様式2に一覧で整理しておりますので、こちらに沿って説明をさせていただきます。

1ページの「取扱内容」、1ページ下段から2ページ上段の「内容の構成・排列、分量等」、2ページ中段の「使用上の配慮等」につきましては、いずれの発行者においても、社会科分野の目標である、国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の育成が図られるよう、学習活動が設定され、構成等の工夫がなされておりました。

2ページ下段から3ページ上段に記載しております「指導上の配慮等」につきましては、「地域素材」、「ICTの活用」、「小中連携による指導」の3点について調査研究を行いました。

一つ目、地域素材につきましては、4者とも、旭川市の雨温図や年間降雪日数などの気候に関わるデータや旭山動物園が取り扱われており、地域を身近に感じ、関心を持って活動できるよう工夫がなされておりました。

二つ目、ICTの活用につきましては、4者とも、二次元コードからインターネットに接続し、練習問題や振り返りワークシートの活用、単元の学習内容に関連する動画の視聴、関係機関のホームページの閲覧などができるよう工夫がなされておりました。

三つ目、小中連携による指導につきましては、4者とも、単元の冒頭や脚注欄などにおいて、小学校の社会科で学習した地理に関する学習内容を振り返り、小学校での学びを生かした学習とすることができるよう工夫がなされておりました。

3ページ下段から4ページに記載しております「本市生徒の学習の状況等」につきましては、本市生徒の社会科において見られる課題の解決に資する特徴として3点について調査研究を行いました。

一つ目、社会的事象の意味や意義について多面的・多角的に考察する力につきましては、4者とも、社会的な課題についてテーマを設定して話し合わせる活動を位置付ける工夫がなされておりました。特に東京書籍、帝国書院、日本文教出版では、単元や章の終末場面で問いをまとめる活動が設定され、多面的・多角的に考察することができる工夫がなされておりました。

二つ目、複数の資料から適切な資料を選択したり、資料を関連付けて情報を読み取ったりする力につきましては、4者とも、技能を習得するためのコーナーが位置付けられているだけでなく、技能を活用して考察する学習を設定するなど工夫がなされておりました。特に帝国書院では、地図帳との連携を図り位置や分布などを捉えやすくするなど、資料と関連して思考を深めることができるよう工夫がなされておりました。

三つ目、既得の知識を関連付けて学習内容を深く理解し、概念などに関する知識として獲得する工夫につきましては、4者とも、歴史や公民といった他分野と関連させたり、単元の課題解決を行うまとめを章末に位置付けたりする配慮がなされておりました。特に、東京書籍、日本文教出版では、学習の手がかりとなる地理的な見方・考え方の視点が数多く示されており、帝国書院では、特設ページやコラムの活用により、学習内容の理解がより深ま

教 育 長 本 田 委 員	<p>         るよう工夫がなされておりました。          地理の調査結果については、以上になります。          つきまして、地図の調査結果について報告します。          地理と同様に、別紙様式2に沿って説明をさせていただきます。          1 ページの「取扱内容」、「内容の構成・排列、分量等」、「使用上の配慮等」につきましては、いずれの発行者においても、社会科の目標である、国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の育成が図られるよう、学習活動が設定され、構成等の工夫がなされておりました。          1 ページ下段から2 ページ上段に記載しております「指導上の配慮等」につきましては、「地域素材」、「ICTの活用」、「小中連携への配慮」の3点について調査研究を行いました。          一つ目、地域素材につきましては、両者とも旭川市が最低気温を記録したことに関するデータが取り扱われておりました。特に東京書籍では、旭川市で1年間に霧が生じた日数が取り扱われておりました。          二つ目、ICTの活用につきましては、両者とも、二次元コードからインターネットに接続し、デジタル地図の利用や関係機関のホームページを閲覧することができるようになっておりました。特に帝国書院では、学習内容の習得や、生徒の調べ学習を支援するコンテンツを多数用意し、生徒が調べ学習を行いやすくする工夫がなされておりました。          三つ目、小中連携による指導につきましては、両者とも、地図帳の索引の使い方を確認するページが設定されており、小学校の既習事項を振り返ることができるようになっておりました。特に帝国書院では、地形や陸の高さ、自然や産業などが分かりやすい鳥瞰表現を用いた地図を掲載するなどの配慮もなされておりました。          2 ページ中段「本市生徒の学習の状況等」につきましては、本市生徒の社会科において見られる課題の解決に資する特徴として3点について調査研究を行いました。          一つ目、社会的事象の意味や意義について多面的・多角的に考察する力につきましては、両者とも、地理的分野だけでなく、歴史的分野や公民的分野においても地図を活用することができるよう配慮がなされており、特に、歴史的分野や公民的分野で活用が考えられる資料にアイコンやマークを付ける工夫がなされておりました。          二つ目、複数の資料から適切な資料を選択したり、資料を関連付けて情報を読み取ったりする力につきましては、両者とも、複数の地図や資料を関連付けて読み取らせる活動を位置付ける工夫がなされておりました。特に帝国書院で、日本各地域の資料において、2つの年代による違いを読み取らせる活動を位置付けるなどの工夫がなされておりました。          三つ目、既得の知識を関連付けて学習内容を深く理解し、概念などに関する知識として獲得する工夫につきましては、両者とも、自然・産業・人口などの様々な情報を地図上に掲載する配慮がなされておりました。          地理及び地図の調査結果については、以上になります。          まず、地理について、御意見、御質問等がありますか。          今回の学習指導要領改訂の内容の改善・充実の事項の中に、地理分野で       </p>
------------------	---

<p>工藤小委員長</p>	<p>は、「世界の諸地域の学習」において、地球規模の課題等を主題として取り上げた学習を充実させるという項目がありますが、その取扱い内容が充実している教科書はありましたか。</p> <p>4者とも学習指導要領の改訂を受けて、社会科の目標でもある、グローバル化する国際社会に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成するための内容を教科書に記載していました。その中で、「世界の諸地域の学習」において、取扱いに大きな差はありませんでした。</p>
<p>本田委員</p>	<p>防災教育に関して、空間情報に基づく危険の予測に関する指導を充実させることが挙げられていますが、近年、集中豪雨など気候変動等の内容が取り沙汰されており、それを、具体的に取り上げている教科書があれば教えてください。</p>
<p>工藤小委員長</p>	<p>4者とも、防災・減災について記載し、ハザードマップを掲載しておりました。特に、教育出版社においては、2種類のハザードマップを取り上げ、釜石市の津波防災教育を紹介するコーナーを設定していました。</p>
<p>教育長 各委員 教育長 本田委員</p>	<p>他に御意見、御質問等はありませんか。</p> <p>ありません。</p> <p>続いて、地図について、御意見、御質問等がありますか。</p> <p>地図帳の役割として、資料の新しさということが求められると思いますが、各者に差はありましたか。</p>
<p>工藤小委員長 本田委員</p>	<p>統計資料については、2者ともおおむね新しい資料を使っておりました。郷土である北海道がしっかりと扱われていたのはどちらの教科書でしたか。</p>
<p>工藤小委員長</p> <p>教育長 各委員 教育長</p>	<p>2者とも、北海道地方における記載が充実しておりましたが、記載内容が若干多かったのは帝国書院でした。</p> <p>他に御意見、御質問等はありませんか。</p> <p>ありません。</p> <p>以上で、地理及び地図の審議を終了します。</p> <p>暫時休憩いたします。</p>
	<p>(地理及び地図小委員会小委員長退室)</p> <p>(歴史小委員会小委員長入室)</p>
<p>教育長</p>	<p>再開いたします。</p> <p>続いて、歴史の審議を始めます。</p> <p>旭川市教科書調査委員会の小委員長の立場から、調査研究結果について、答申書に基づいて御説明をお願いします。</p>
<p>岩瀬小委員長</p>	<p>本小委員会は、5名の調査委員により、3回の小委員会を開催し、9者の教科用図書について、旭川市教育委員会の教科用図書の採択方針に基づき調査研究を行いました。</p> <p>調査結果につきましては、発行者ごとに別紙様式1に記載しております。また、観点ごとに各発行者の特徴を比較できるよう、別紙様式2に一覧で整理しておりますので、こちらに沿って説明をさせていただきます。</p> <p>1ページ及び5ページの「取扱内容」、「内容の構成・排列、分量等」、2</p>

ページ上段及び6ページ上段の「使用上の配慮等」につきましては、いずれの発行者においても、社会科の目標である、国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の育成が図られるよう、学習活動が設定され、構成等の工夫がなされておりました。

2ページ中段から3ページ及び6ページ中段から7ページに記載しております「指導上の配慮等」につきましては、「地域素材」、「ICTの活用」、「小中連携による指導」の3点について調査研究を行いました。

一つ目、地域素材につきましては、各者とも、地域素材として、アイヌ民族と北方領土が取り扱われておりました。特にアイヌ民族については、東京書籍、教育出版、帝国書院、山川出版、日本文教出版では、本市にゆかりのある知里幸恵やアイヌ神謡集が取り扱われており、生徒の関心を高める工夫がなされておりました。

二つ目、ICTの活用につきましては、東京書籍、教育出版、帝国書院、山川出版、日本文教出版、育鵬社、令和書籍では、二次元コードなどからインターネットに接続し、学習内容に関連する動画を視聴したり、関係機関のホームページを閲覧したりすることができるようになっておりました。特に、東京書籍では、技能の向上を図るための参考動画を視聴したり、歴史的資料を拡大して閲覧したりすることができるよう工夫がなされており、日本文教出版では、単元の見通しを持つ手がかりとなる動画や単元の振り返りを行うワークシート、知識の定着を図る小テストなどを活用することができる工夫がなされておりました。

三つ目、小中連携による指導につきましては、各者とも、小学校の社会科で学習した内容を振り返る活動が設定されておりました。特に東京書籍では、各章の導入において、小学校で学習した人物や文化財の資料、用語を掲載してマーク等で示すなどの配慮がなされており、教育出版では、巻頭に小題材を設定し、小学校での学習を楽しみながら振り返り、中学校での学習で働かせる「歴史の見方・考え方」などを学習できるよう配慮がなされておりました。

3ページ中段から4ページ及び7ページ中段から8ページに記載しております「本市生徒の学習の状況等」につきましては、本市生徒の社会科において見られる課題の解決に資する特徴として3点について調査研究を行いました。

一つ目、社会的事象の意味や意義について多面的・多角的に考察する力につきましては、東京書籍、教育出版、帝国書院、山川出版、日本文教出版、育鵬社、学び舎において、章末等に学習内容を振り返り、考えを整理したり深めたりする活動を設定しております。特に、東京書籍では、グループで話し合い、多角的・多面的に考察する活動を促すコーナーが設定されており、帝国書院では、章末に、時代の特色やその背景について対話を通して考察を深めるパフォーマンス課題を設定した特設ページを設定する工夫がなされておりました。

二つ目、複数の資料から適切な資料を選択したり、資料を関連付けて情報を読み取ったりする力につきましては、各者とも身近な地域の歴史について学習する単元などにおいて、資料を活用した調査活動を設定しておりま

	<p>した。特に、教育出版においては、各単元を通して追究する問いを生み出す視点を提示し、追究に必要となる資料を掲載するとともに、その活用の手がかかりも提示するなどの工夫がなされておりました。</p> <p>三つ目、既得の知識を関連付けて学習内容を深く理解し、概念などに関する知識を獲得する力につきましては、東京書籍、教育出版、帝国書院、山川出版、日本文教出版、育鵬社、学び舎において、単元で学習した用語を活用し、各時代の特色などについて整理して表現する活動を章末に設定しておりました。特に、教育出版においては、章末に学習内容を振り返った後に、歴史的な見方・考え方を働かせて、段階的に考察し、表現する学習活動を設定する工夫がなされておりました。また、帝国書院では、見開きページで1授業時間で学習できるよう構成されるとともに、学習内容の理解を深め、知識の定着が図られるよう紙面構成を構造化する工夫がなされておりました。歴史の調査結果については、以上になります。</p>
<p>教 育 長 本 田 委 員</p>	<p>歴史について、御意見、御質問等がありますか。</p> <p>今回の学習指導要領改訂の内容の改善・充実の事項の中に、世界の歴史の学習について充実させるという指摘があったと思いますが、それが具体的に示されている教科書を教えてください。2点目として、民主政治の来歴、人権教育の広がりなどの動きを取り上げるという指摘もありますが、そういった内容に触れている教科書があれば教えてください。</p>
<p>岩 瀬 小 委 員 長</p>	<p>各者とも、日本の歴史的事象に関連する世界の歴史について記載されておりました。また、民主政治の来歴、人権教育の広がりなどの動きを取り上げており、人権教育の部分では、地域素材としてアイヌ民族との関わりが取り扱われておりました。</p>
<p>本 田 委 員</p>	<p>とりわけ、歴史では決めつけがないような表現が大事であると思いますが、そういった表記について配慮している教科書があれば教えてください。</p>
<p>岩 瀬 小 委 員 長</p>	<p>各者とも、本文記述を補足する解説等を備考等に注釈として記載していました。</p>
<p>本 田 委 員</p>	<p>学習指導要領の指導書の中で、未確定の事柄や多様な見解のある内容について、一方に偏るよることのないよう留意するという表記がありましたので質問させていただきました。</p>
<p>岩 瀬 小 委 員 長</p>	<p>日本の歴史と世界の歴史を関連付けて明示しているということですが、見やすかったのはどの教科書ですか。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>各者とも、年表を活用し、巻頭や巻末に、日本と世界の出来事等を記載し、日本の歴史と世界の歴史のつながりを示しておりました。</p>
<p>教 各 委 員</p>	<p>他に御意見、御質問等はありませんか。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>ありません。</p> <p>以上で、歴史の審議を終了します。</p> <p>暫時休憩いたします。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>(歴史小委員会小委員長退室)</p> <p>(公民小委員会小委員長入室)</p>
<p>教 育 長</p>	<p>再開いたします。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>続いて、公民の審議を始めます。</p>

長谷川小委員長

旭川市教科書調査委員会の小委員長の立場から、調査研究結果について、答申書に基づいて御説明をお願いします。

本小委員会は、5名の調査委員により、3回の小委員会を開催し、6者の教科用図書について、旭川市教育委員会の教科用図書の採択方針に基づき調査研究を行いました。

調査結果につきましては、発行者ごとに別紙様式1に記載しております。また、観点ごとに各発行者の特徴を比較できるように、別紙様式2に一覧で整理しておりますので、こちらに沿って説明をさせていただきます。

1ページの「取扱内容」、1ページ下段から2ページ上段の「内容の構成・排列、分量等」、2ページ中段の「使用上の配慮等」につきましては、いずれの発行者においても、社会科の目標である、国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の育成が図られるよう、学習活動が設定され、構成等の工夫がなされておりました。

2ページ下段から3ページに記載しております「指導上の配慮等」につきましては、「地域素材」、「ICTの活用」、「小中連携による指導」の3点について調査研究を行いました。

一つ目、地域素材につきましては、各者とも、アイヌ民族と北方領土が取り扱われておりました。特に、東京書籍でアイヌ語の地名表示板や、帝国書院で、旭山動物園条例など、本市の事例が取り扱われており、生徒の関心を高める工夫がなされておりました。

二つ目、ICTの活用につきましては、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版、育鵬社で、二次元コードなどからインターネットに接続し、学習内容に関連する動画を視聴したり、関係機関のホームページを閲覧したりすることができるようになっておりました。特に、東京書籍、教育出版、日本文教出版においては、動画に加え、他分野や他教科の教科書の誌面やワークシート、学習を振り返るための問題や、スタディログを記録する「ポートフォリオ」を用意するなどの工夫がなされておりました。

三つ目、小中連携による指導につきましては、各者とも、小学校の社会科で学習した内容を振り返る活動が設定されておりました。特に教育出版と帝国書院においては、脚注に小学校で学習した内容を掲載する工夫がなされておりました。

3ページ中段から4ページに記載しております「本市生徒の学習の状況等」につきましては、本市生徒の社会科において見られる課題の解決に資する特徴として3点について調査研究を行いました。

一つ目、社会的事象の意味や意義について多面的・多角的に考察する力につきましては、各者とも、社会的な課題について複数の立場から解決策を考えさせる活動を設定しておりました。特に東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版、育鵬社で、対話的な活動を行う特設ページなどを複数設定する工夫がなされておりました。

二つ目、複数の資料から適切な資料を選択したり、資料を関連付けて情報を読み取る力につきましては、各者とも、技能を習得するためのコーナー等を設定しておりました。

三つ目、既得の知識を関連付けて学習内容を深く理解し、概念などに関す

<p>教 育 長 本 田 委 員</p>	<p>る知識を獲得する力につきましては、各者とも、単元で学習した用語を活用し、単元の課題解決に向けて説明させる問題を章末に設定しておりました。また、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版で、概念的な知識の円滑な習得に向けてさまざまな思考ツールが活用できるよう、工夫されておりました。</p> <p>公民の調査結果については、以上になります。</p> <p>公民について、御意見、御質問等がありますか。</p> <p>公民分野において、学習指導要領改訂の内容の改善・充実の事項の中に、防災情報の発信・活用に関する指導、情報化など知識基盤社会における産業の社会の構造的な変化、選挙権年齢引下げに対応する政治参加等々の内容が重点として挙げられていると思いますが、小委員会でこれらのことについて話題になった点はありませんか。</p>
<p>長谷川小委員長 本 田 委 員</p>	<p>各者、選挙権年齢等について、記載があることを確認しておりました。</p> <p>小委員長として御覧になって、教科書の記載内容で気づいた点はありませんか。</p>
<p>長谷川小委員長 本 田 委 員</p>	<p>A I の活用や防災情報の発信等の記載があり、さらなる指導の充実に生かすことが大切だと考えています。</p> <p>特に、公民は政治にまつわる指導内容が多かったと思いますが、ここで最も配慮が必要となるのは、一つの結論を出すよりも、結論に至るまでの冷静で理性的な議論の過程が大切であることを理解させるということが言われていますが、そういったものは配慮されていたでしょうか。</p>
<p>長谷川小委員長 本 田 委 員</p>	<p>どの教科書も、対話を通して、考えを深める配慮がなされておりました。特に、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版においては、生徒に対話を促す場面を多く取り入れていました。</p> <p>I C Tの中にポートフォリオという言葉が出てきますが、学習をしていく上で何がよいのか教えてください。</p>
<p>長谷川小委員長</p>	<p>ポートフォリオについては、生徒の学びを蓄積し、整理、分析したり、一覧にしたりすることにより、生徒自身が振り返り、復習などに活用することや、教師の指導改善に役立てることができるというよさがあります。また、教師が作成した学習プリント等を活用することもあります。</p>
<p>教 育 長 各 委 員 教 育 長</p>	<p>他に御意見、御質問等はありませんか。</p> <p>ありません。</p> <p>以上で、公民の審議を終了します。</p> <p>暫時休憩いたします。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>(公民小委員会小委員長退室) (数学小委員会小委員長入室)</p>
<p>教 育 長 常 盤 小 委 員 長</p>	<p>再開いたします。</p> <p>続いて、数学の審議を始めます。</p> <p>旭川市教科書調査委員会の小委員長の立場から、調査研究結果について、答申書に基づいて御説明をお願いします。</p> <p>本小委員会は、7名の調査委員により、3回の小委員会を開催し、7者の教科用図書について、旭川市教育委員会の採択方針に基づき、調査研究を行</p>

いました。

調査結果につきましては、発行者ごとに別紙様式1に記載しております。また、観点ごとに各発行者の特徴を比較できるよう、別紙様式2に一覧で整理しておりますので、こちらに沿って説明をさせていただきます。

1 ページから2 ページ上段の取扱内容、2 ページ中段の内容の構成・排列・分量等、2 ページ中段から3 ページ上段の使用上の配慮等につきましては、いずれの発行者においても、数学科の目標である「数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力の育成」が図られるよう、学習活動が設定され、構成等の工夫がなされておりました。

3 ページ中段から4 ページの上段に記載しております「指導上の配慮等」につきましては、「地域素材」、「ICTの活用」、「小中連携」の3つの視点で調査研究を行いました。

一つ目、地域素材につきましては、各者とも、北海道に関わる問題文や写真、地図等が取り扱われておりました。特に大日本図書、教育出版、啓林館の3者においては、問題の中で本市に関わる内容を取り上げたり、旭川市彫刻美術館の写真を扱ったりしておりました。

二つ目、ICTの活用につきましては、各者とも、二次元コードを読み取ることで、図形を動かすシミュレーションや動画などのデジタルコンテンツを扱っており、解説動画を見て解き方を確認するなどの工夫がなされておりました。特に東京書籍と教育出版の2者においては、練習問題で、必要に応じて考え方のヒントを確認しながら問題を解決できるような工夫がなされておりました。

三つ目、小中連携につきましては、各者とも、小学校の既習事項を振り返ることができるようになっておりました。東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、数研出版、日本文教出版の6者においては、巻頭目次や巻末等で、小学校の既習事項と中学校数学との系統性を示すなど、円滑な接続への配慮がなされておりました。

4 ページに記載しております「本市生徒の学習の状況等」につきましては、本市生徒の数学科に見られる課題の解決に資する特徴として3点について調査研究を行いました。

一つ目、既習の学習内容を手掛かりに、新たな課題を解決しようとする態度の育成につきましては、各者とも、既習の学習内容を明示しており、問題解決的な学習が展開できるような工夫がなされておりました。特に教育出版では、「はてな?」「なるほど!」「だったら!？」等の吹き出しで問題発見・解決の過程を明示し、問題解決的な学習が展開できるような工夫がなされておりました。

二つ目、根拠等を明確にして説明する力の育成につきましては、各者とも、登場人物による吹き出し等で数学的な見方・考え方を明示しておりました。特に大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館、日本文教出版の5者で、本文中に、「みんなに説明しよう」等のマークを付け、学習した内容を基に、数学的に表現する機会を意図的に設定する工夫がなされておりました。

三つ目、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得につきましては、全ての発行者において、学習内容を踏まえた練習問題を設定しており、巻末には補充問題を掲載し熟達に配慮がなされておりました。特に教育出版では、毎時

教 育 長 本 田 委 員	<p>間の問題解決後、練習問題を解く前に、その時間の学習を生かして解決することのできる「たしかめ問題」を設定し、スモールステップで学習内容を確実に定着させるよう工夫がなされていました。</p>
	<p>数学の調査結果の概要については以上になります。</p>
	<p>数学について、御意見、御質問等がありますか。</p>
常 盤 小 委 員 長	<p>学習指導要領の改訂のポイントで、日常生活や社会の事象や数学の事象から問題を見出し、主体的に取り組む数学的活動の充実という内容がありますが、この点のアプローチが色濃く出ている教科書を教えてください。また、統計教育の充実についても示されていましたが、特徴的な教科書があれば教えてください。最後に、改訂のポイントで、数学的な表現を用いた理由の説明に課題があるという指摘がありましたが、そのことを補強あるいは育成するための指導内容が充実している教科書を教えてください。</p>
	<p>1点目の数学的活動はどの教科書も色濃く出ています。日常の事象や数学的な事象から問題を解決していくことについて、小学校の算数では日常的な事象が多いですが、中学校の数学では数学的な事象から入ることが多くなってきます。そういったことで、どの教科書も数学的な事象から入って数学的活動をしていくということを中心に置いているので、調査委員会で調査したところでは余り差がつかなかったという状況でした。統計教育については、今回、ICTを活用した学習を進めるために、二次元コードを多く配置している出版社が多くありました。その中で、シミュレーション等によって効率よく学べるといったことも、多々ありますが、大日本図書は二次元コードの数が少し少なかったという印象があり、教科書をより使うということが多くなされていたと思います。最後に、数学的な表現を用いた理由の説明の部分ですが、調査した本市生徒の学習の状況等の中の、根拠等を明確にして説明する力の育成の部分で、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館、日本文教出版の5者が、教科書の本文中に「みんなに説明しよう」などのマークをつけ、その問題の中で説明する機会を設けており、特に大日本図書、教育出版、啓林館の3者については、マークの割合が多く、授業の中で説明する活動を取り入れようとしていると感じました。</p>
本 田 委 員	<p>分かって楽しい教科書ということも大事だと思いますので、学習の中で数学的活動の楽しさを味わえるような教科書を教えてください。</p>
常 盤 小 委 員 長	<p>楽しいということでは、基礎基本の確実な定着といった部分で、学習した内容を踏まえた基本的な問題が1問あり、その後、練習問題を行うというスモールステップで学習ができるという教育出版は、基礎基本の定着に適した教科書ではないかと調査したところです。</p>
教 育 長	<p>数学は難しいと思い読んでおりましたが、答えが出ているものとあまり出していないものがあり、練習問題や考え方のところなどでも、どういう答えになるか分かるものと分からないもので教科書が分かれていたと思いますが、どちらが良いと思われますか。</p>
常 盤 小 委 員 長	<p>私は、教科書は答えが出ている方が良いと思います。数学の授業を行う先生は、もちろん教科書を使いますが、教科書を教えるのではなく、教科書を使って教えています。ですから、その教科書を踏まえた学習問題や課題を与え、授業を流した上で、授業の最後、終盤の場面で教科書をもう1回見直すという使い方が多いと思います。そのときに、やはりその解答や解き方が載</p>

<p>教 育 長 各 委 員 長 教 育 長</p>	<p>っている方が子どもたちにとっても良いですし、その先生にとっても使いやすいのではないかと思います。</p> <p>他に御意見、御質問等はありませんか。</p> <p>ありません。</p> <p>以上で、数学の審議を終了します。</p> <p>暫時休憩いたします。</p> <p>(数学小委員会小委員長退室)</p> <p>(理科小委員会小委員長入室)</p>
<p>教 育 長 小 嶋 小 委 員 長</p>	<p>再開いたします。</p> <p>続いて、理科の審議を始めます。</p> <p>旭川市教科書調査委員会の小委員長の立場から、調査研究結果について、答申書に基づいて御説明をお願いします。</p> <p>本小委員会は、7名の調査委員により、3回の小委員会を開催し、5者の教科用図書について、旭川市教育委員会の教科用図書の採択方針に基づき調査研究を行いました。</p> <p>調査結果につきましては、発行者ごとに別紙様式1に記載しております。また、観点ごとに各発行者の特徴を比較できるよう、別紙様式2に一覧で整理しておりますので、こちらに沿って説明をさせていただきます。</p> <p>1 ページ上段の「取扱内容」、1 ページ中段の「内容の構成・排列、分量等」、1 ページ下段の「使用上の配慮等」につきましては、いずれの発行者においても、理科の目標である「自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力の育成」が図られるよう、学習活動が設定され、構成等が工夫されておりました。</p> <p>2 ページ上段に記載しております「指導上の配慮等」につきましては、「地域素材」、「ICTの活用」、「小中連携による指導」の3点について調査研究を行いました。</p> <p>一つ目、地域素材につきましては、5者とも、地域素材として、昭和新山をはじめとした北海道に関わりのある題材や、旭山動物園などの旭川市に関わる題材を掲載しております。特に教育出版と啓林館では、より多くの写真を扱い、生徒が身近に感じることができるよう工夫がなされておりました。</p> <p>二つ目、ICTの活用につきましては、5者とも学習に関わるコンテンツが掲載されており、特に東京書籍と啓林館では、学習内容に関わる問題を解くことができるコンテンツが掲載されており、学校図書では、全紙面のウェブページ化に加え、自学自習用チャットボットが設定されているなど、学習内容の理解を深めることができるよう工夫がなされておりました。</p> <p>三つ目、小中連携による指導につきましては、5者とも小学校での既習内容等を記載することで、系統性を意識できるよう配慮がなされておりました。特に大日本図書では、第1学年の本文と資料を大きな文字で表しており、中学校へのスムーズな移行を促すための配慮がなされておりました。</p> <p>2 ページ下段から3 ページ上段に記載しております「本市生徒の学習の状況等」につきましては、本市生徒の理科において見られる課題の解決に資</p>

<p>教 育 長 本 田 委 員</p> <p>小 嶋 小 委 員 長</p>	<p>する特徴として3点について調査研究を行いました。</p> <p>一つ目、自分の考えや考察を、自信をもって説明したり、発表したりする力の育成につきましては、5者とも、生徒同士の対話例等が掲載され、議論しながら自分の考えを深めたり広げたりする工夫がなされておりました。特に東京書籍では、課題に対するまとめの場面において、キーワードのみを記載することにより、生徒が自分の考えを自分の言葉で表現することを促し、科学的な考察が育まれるよう配慮がなされておりました。</p> <p>二つ目、自然の事物・現象の中から問題を見いだしたり観察や実験の結果を分析して解釈したりする力の育成につきましては、5者とも、探究の過程が明示されており、特に、東京書籍では、「学びのライン」や「フローチャート」により見通しがもてるよう分かりやすく示す工夫がなされておりました。また、キャラクターの吹き出しにより仮説の設定や、理科の見方・考え方を働かせた結果の解釈のきっかけとなるよう工夫がなされておりました。</p> <p>三つ目、自分の予想や仮説を検証するための観察・実験の計画を立てる力の育成につきましては、5者とも、観察・実験の準備物や実験器具の使い方、薬品の取り扱い方を掲載するとともに、どのような方法で仮説を検証するか、吹き出し等を用いて計画立案のヒントを示すなどの工夫がなされておりました。</p> <p>理科の調査結果については、以上になります。</p> <p>理科について、御意見、御質問等がありますか。</p> <p>理科の学習課程の特徴として、課題を把握し仮説を立て、実験観察をしてまとめるといった流れが、学習においてとても大事であると思います。教科書により内容にやや違いがあるように思いますが、小委員会の話合いの中でそういった点について話題になりましたか。</p> <p>全ての教科書で、単元のどこに重点的に探究活動を位置付けるかについて工夫しており、5者それぞれに特徴がありました。7名の小委員会の委員と協議する中では、重点的に取り組む課題が明確に設定されている教科書は使いやすいという意見でした。全てにおいて、探究活動を1年間、例えば、1年生105時間の中で、4領域で幾つもある実験がある中で、全ての実験を仮説、実験、考察、結論の学習過程を経て、学習を振り返るということをしていきますと、105時間の授業時間数で終わるのは難しいです。そのため、生徒の資質・能力の育成の観点から、どこの課題で生徒が探究活動をじっくり行うかを設定することが大切だと考えていますが、バランスよくまとめているのは、東京書籍、教育出版、啓林館です。この3者については、たくさんある実験の中で、例えば、東京書籍であれば、1年間で4つ、中1、中2、中3も1年間4領域の中で4つずつ、じっくり探究が入っていて、その中では、特に仮説の立て方や実験計画の立て方などを、重点を置いて指導することができ、この単元は生徒が探究活動に取り組みやすいところが選ばれています。教育出版も疑問から探究してみようというものが4領域一つずつ、必ず、3年間に1年生4回、2年生4回、3年生4回、啓林館でも探究活動ということで、4領域で一つずつ、必ず1年間4回は深める実験の場面があって、そのつくりは使いやすいと思いました。大日本出版社は、探究活動という名目はありますが、全て発展的な内容となっており、若手教員な</p>
---	---

本 田 委 員	<p>どがそれをやり切る時間が生み出せるかということについて少し難しいという感想を持ちました。また、学校図書については、全ての実験について探究活動として、細かく設定されているので、使い方によっては標準授業時数では指導時間が足りなくなることが懸念されました。</p>
小 嶋 小 委 員 長	<p>私も委員の指摘と同意見です。105時間でできるかどうかは大きな問題ですが、やらなくてはならないことはやらなければならないということ、これがカリキュラムの基本であると思います。また、学校図書の教科書で理路整然という表題がついたコーナーがありました。理科は理路整然でなくてはいけいのでしょうか。この用語は理科の専門家ではよく使われる用語なのか教えてください。</p>
教 育 長	<p>よく使う用語ではありません。ただ、学校図書の教科書を読ませていただき、特徴として、整理することについても重点を置いていますという形でしたので、それで整然という言葉を使ったと思いますが、委員の中では理路整然のコーナーで扱われている内容が難しいという意見があり、私も同じような感想を持ちました。</p>
教 各 教 育 長	<p>他に御意見、御質問等はありませんか。 ありません。 以上で、理科の審議を終了します。 暫時休憩いたします。</p>
	<p>(理科小委員会小委員長退室) (音楽一般及び器楽合奏小委員会小委員長入室)</p>
教 育 長	<p>再開いたします。 続いて、音楽一般及び器楽合奏の審議を始めます。 旭川市教科書調査委員会の小委員長の立場から、調査研究結果について、答申書に基づいて御説明をお願いします。</p>
坂 東 小 委 員 長	<p>本小委員会は、7名の調査委員により、3回の小委員会を開催し、音楽一般、器楽合奏それぞれ2者の教科用図書について、旭川市教育委員会の教科用図書の採択方針に基づき調査研究を行いました。 はじめに、音楽一般の調査結果について報告いたします。 調査結果につきましては、発行者ごとに別紙様式1に記載しております。また、観点ごとに各発行者の特徴を比較できるよう、別紙様式2に一覧で整理しておりますので、こちらに沿って説明をさせていただきます。 1 ページから2 ページ上段の「取扱内容」、2 ページ中段「内容の構成・排列・分量等」、「使用上の配慮等」については、どちらの発行者においても、音楽科の目標である、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力の育成が図られるよう、学習活動が設定され、構成等の工夫がなされておりました。 2 ページ下段から3 ページ上段に記載しております指導上の配慮等については、「地域素材」、「ICTの活用」、「小中連携による指導」の3点について調査研究を行いました。 一つ目、地域素材につきましては、両者ともに、北海道の民謡である「ソーラン節」や「江差追分」などの楽曲が取り扱われておりました。特に教育</p>

出版では、本市にゆかりのある楽曲である「雪の降る街を」や旭川市大雪クリスタルホール内にある詩碑やホール外観の写真などが取り扱われておりました。

二つ目、ICTの活用につきましては、両者ともに、二次元コードから、楽曲の演奏音源や関連画像などを閲覧することができるようになっておりました。特に教育芸術社では、合唱や鑑賞でのパートごとの演奏音源の掲載や音楽づくりの教材において、ウェブ画面上で旋律をつくり再生することができる創作ツールが用意されるなど、様々なコンテンツを学習に活用することができるよう工夫がなされておりました。

三つ目、小中連携による指導につきましては、両者ともに、小学校の共通教材を発展させて取り扱い、小学校での学びを生かして取り組むことができるよう配慮がなされておりました。特に教育芸術社では、創作の学習の手順を丁寧に示した学習活動が設定されており、小学校で学んだ楽器やリズム、音楽の構成などを活用し、小学校での音楽づくりの学びを振り返りながら取り組むことができるよう配慮がなされておりました。

3 ページ中段に記載しております「本市生徒の学習の状況等」につきましては、本市生徒の音楽科において見られる課題の解決に資する特徴として3点について調査研究を行いました。

一つ目、音楽の特徴を聴き取り、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を生かして表現を工夫することにつきましては、両者ともに、曲の情景を感じ取ってイメージを広げ、曲にふさわしい表現ができるよう工夫がなされており、教育出版では、曲の特徴をまとめたり曲の山場を考えたりできるようなコーナーの設定、教育芸術社では、ペアやグループで歌い試したり、表現の工夫を聴き合ってアドバイスする活動が設定されるなどの工夫がなされておりました。

二つ目、表したいイメージを膨らませながら、即興的に音を出したり音のつながり方を試したりして表現することにつきましては、両者ともに、創作活動の手順が丁寧に示されておりました。特に教育芸術社では、教科書と同じ体裁のデジタルコンテンツが用意され、紙面とウェブ画面のどちらも活用して創作活動に取り組めるよう工夫がなされておりました。

三つ目、鑑賞において、想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、自己のイメージや感情を伝え合い、互いの感じ方や考え方に共感することにつきましては、両者ともに、互いの感じ方や考え方を交流する活動が設定されておりました。特に教育出版では、複数の曲を比較して鑑賞し、聴き取ったことや感じ取ったことを整理するワークシートの工夫がなされておりました。

3 ページ下段に記載しております、その他の項目として、著作権への配慮について調査したところ、両者ともに、音楽に関する著作権やインターネット上の音楽利用のルールなどについて扱われておりました。

音楽一般の調査結果については、以上になります。

続いて、器楽合奏の調査結果について報告いたします。

音楽一般と同様に、別紙様式2に沿って説明をさせていただきます。

1 ページの「取扱内容」、「内容の構成・排列・分量等」、「使用上の配慮等」については、どちらの発行者においても、音楽科の目標である、生活や社会

<p>教 育 長 本 田 委 員</p>	<p>の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力の育成が図られるよう、学習活動が設定され、構成等の工夫がなされておりました。</p> <p>1 ページ下段から 2 ページに記載しております指導上の配慮等については、音楽一般と同様に「地域素材」、「ICTの活用」、「小中連携による指導」の 3 点について調査研究を行いました。</p> <p>一つ目、地域素材につきましては、両者ともに、北海道と関わりのある楽曲が取り扱われておりました。特に教育出版では、楽器の文化や伝統を調べるコーナーの中で、アイヌ民族の楽器である「トンコリ」が取り扱われておりました。</p> <p>二つ目、ICTの活用につきましては、両者ともに、二次元コードに、関連の音源や各楽器の奏法、範奏の動画などが多数掲載されておりました。特に教育芸術社では、器楽における創作ツールが掲載されており、学習場面で活用することができるよう工夫がなされておりました。</p> <p>三つ目、小中連携による指導につきましては、両者ともに、小学校で取り扱ったソプラノリコーダーと中学校で取り扱うアルトリコーダーの共通点や相違点を示し、無理なく移行できるよう配慮がなされておりました。</p> <p>2 ページに記載しております「本市生徒の学習の状況等」につきましては、本市生徒の音楽科において見られる課題の解決に資する特徴として 2 点について調査研究を行いました。</p> <p>一つ目、知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫することにつきましては、両者ともに、キャラクターの吹き出しなどで奏法のアドバイスや演奏のポイントなどが示され、学びを深める工夫がなされておりました。</p> <p>二つ目、曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりを捉えて表現することにつきましては、両者ともに、楽器の響きや音楽の構造を考えながら旋律をつくる活動が設定されておりました。</p> <p>音楽一般及び器楽合奏の調査結果の報告については、以上になります。</p> <p>まず、音楽一般について、御意見、御質問等がありますか。</p> <p>楽典は両者とも扱っていると思いますが、丁寧に扱っているのはどちらの教科書ですか。</p>
<p>坂 東 小 委 員 長 本 田 委 員</p>	<p>両者とも取り扱っており、教科書の巻末に一覧として載せています。</p> <p>音楽の授業を受けたものの、楽譜が読めない子どもがたくさんいるように思っています。今はコンピュータに任せれば音楽を作れる時代かもしれませんが、教科として学ぶのであれば、基本である楽典を丁寧に扱うことは大事なことはないかと思ひ質問しました。</p> <p>この両方の教科書を比較すると、楽しさという点ではどちらの教科書になるでしょうか。</p>
<p>坂 東 小 委 員 長 本 田 委 員</p>	<p>どちらも、子どもたちが楽しめるようにつくられていると思います。</p> <p>世代の違う私たちから見ると、知らない曲が多く出てきていますが、今の子どもたちには適切なのでしょうか。</p>
<p>坂 東 小 委 員 長 本 田 委 員</p>	<p>新しい曲との出会いも、とても大切であると思ひますし、今まで歌い継がれてきた曲や合唱でよく歌われている曲などについても、多く選出されております。</p> <p>最後にソプラノリコーダーとアルトリコーダーについて、年間総時数が</p>

坂東小委員長	<p>少ないため、保護者の方からすると、何のために買ったのかということになりかねません。そこをうまく指導するため、子どもが好んで使ったり、発表会で使えるような配慮はどちらの教科書もされていますか。</p>
本 田 委 員	<p>両方とも配慮されています。音楽の学習では題材構成を重視しており、歌唱と器楽を組み合わせる題材を構成し、どちらも効果的になるような形で学習を進めています。コロナ禍の期間はリコーダーを使用することができなかったということがありましたが、やっと使用できる状況になり、今後は、子どもたちがリコーダーを使い、みんなで合わせる楽しさを味わっていただけるものだと思います。</p>
教 育 長 各 委 員 教 育 長 各 委 員 教 育 長	<p>小学校ではリコーダーをよく使っていると思いますが、中学校のアルトリコーダーになると、いつ使っただろうかと聞かれることがあります。短い時数のため、その中で子どもたちが親しんで、ソプラノリコーダーとアルトリコーダーでアンサンブルができるぐらいの力がつけば意味があると保護者の方は思うのではないのでしょうか。これだけ音が氾濫している時代で、子どもが好んで基本を身に付け、音楽を楽しんでほしいという願いで質問しました。優劣をつけるという意味ではなくて、やはりそこが大事だと思います。音楽一般だけではなく、器楽のことも質問いたしました。</p>
教 育 長 各 委 員 教 育 長 各 委 員 教 育 長	<p>他に御意見、御質問等はありませんか。 ありません。 続いて、器楽合奏について、御意見、御質問等がありますか。 ありません。 以上で、音楽一般及び器楽合奏の審議を終了します。</p> <p>(音楽及び器楽合奏小委員会小委員長退室)</p>
教 育 長	<p>以上で、本日の教科書採択に係る審議を終えたいと思います。 次回の8月臨時教育委員会会議では、残りの種目について小委員長から説明をいただくほか、教科書発行者が4者以上の種目について、重点的に審議する教科書の絞り込みを行いたいと思います。</p> <p>《 そ の 他 》</p>
教 育 長 各 委 員 事 務 局 教 育 長	<p>他に、何かありますか。 ありません。 ありません。 それでは、以上で令和6年8月第1回臨時教育委員会会議を終了いたします。</p> <p>《 閉 会 》</p>